

6年連続小説部門《大賞》に2作品、イラスト部門《大賞》1作品が輝く

「第24回電撃大賞」 受賞作品決定

第25回より新選考委員へ 25回記念の新賞《読者賞》も創設

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹、以下KADOKAWA)アスキー・メディアワークスが、次代を創造するエンターテイナーの発掘・育成を目的に主催しております「電撃大賞」は今年24回を迎え、小説部門の「電撃小説大賞」、イラスト部門の「電撃イラスト大賞」、コミック部門の「電撃コミック大賞」の3部門に、応募総数5,989作品が寄せられました。約半年にわたる厳正な選考の結果、受賞作品が決定しましたのでお知らせいたします。

小説部門からは6年連続で《大賞》に2作品が、イラスト部門からも《大賞》に1作品が輝きました。コミック部門では選考委員から高い評価を受けた多数の作品が受賞いたしました。

KADOKAWA アスキー・メディアワークスでは、本大賞に入賞した作品はもちろん、惜しくも選に漏れた作品の中からも、小説部門では「電撃文庫」「メディアワークス文庫」などで商品化しており、これまで数多くの人気作品を刊行、人気作家を育ててまいりました。第24回の受賞作品・受賞者については、小説部門は来年2018年2月以降の文庫発売、イラスト部門は文庫のカバーイラストなどでの起用、コミック部門は電撃コミック各誌への掲載などを予定しています(一部作品を除く)。今後も、本大賞がさまざまなメディアミックス展開や商品化などへつながるコンテンツを生み出すエンターテイナーの登竜門として認知されますよう、さらに幅広い才能の発掘を目指し努力してまいります。

なお、現在作品募集中の第25回電撃大賞では、新たな選考委員による最終選考と、「電撃大賞」が25回という節目を迎えることを記念して《読者賞》を設けることが決定いたしました。

■「第24回電撃大賞」受賞作品・受賞者 応募作品総数5,989作品

＜電撃小説大賞＞ 応募数 5,088作品(長編 3,528作品、短編 1,560作品)

賞	作品名	ペンネーム	年齢	住所
大賞	『ガラクタの王』	凧 輪音	24歳	愛知県
大賞	『タタの魔法使い』	うーぱー	37歳	愛知県
金賞	『Hello,Hello and Hello』	葉月 文	28歳	大分県
金賞	『世界の果てのランダム・ウォーカー』	西 条陽	31歳	東京都
メディアワークス文庫賞	『吉原百菓一口夢』	江中 農	30歳	兵庫県
銀賞	『鯖喰いビスコ』	瘤久保慎司	30歳	埼玉県
選考委員奨励賞	『二代目 創風亭破楽語り』	バスコ	39歳	兵庫県

※電撃文庫MAGAZINE賞は該当作品なし。

<電撃イラスト大賞> 応募数 599作品

賞	ペンネーム	年齢	住所	想定作品
大賞	はてなときのこ	20歳	愛知県	電撃文庫『キノの旅 the Beautiful World』 著/時雨沢恵一
銀賞	つくぐ	23歳	兵庫県	電撃文庫『いもーとらいふ』 著/入間人間
銀賞	フーフー	25歳	兵庫県	電撃文庫『紫色のクオリア』 著/うえお久光
銀賞	まきあつと	29歳	韓国	電撃文庫『ゼロから始める魔法の書』 著/虎走かける
選考委員 奨励賞	銀木犀	24歳	大阪府	電撃文庫『我が家のお稲荷さま。』 著/柴村 仁

※金賞は該当作品なし。

<電撃コミック大賞> 応募数 302作品

賞	作品名	応募ジャンル	ペンネーム	年齢	住所
金賞	『不完全で不衛生でふしだら』	少年マンガ作品	すのはら風香	24歳	神奈川県
金賞	『夕焼け境界線』	少年マンガ作品	my	24歳	神奈川県
銀賞	『もう夏は来ないけれど』	少年マンガ作品	カボちゃ	22歳	山形県
銀賞	『黄昏迷宮のジクスハント』	コミック原作作品	才田夏生	33歳	北海道
銀賞	『彼女の黙示録』	少年マンガ作品	テルヤ	非公開	大阪府
銀賞	『ハジメマシテ』	少年マンガ作品	むっしゅ	25歳	東京都

※大賞は該当作品なし。

■「第25回電撃大賞」選考委員について

第25回電撃大賞の選考委員をお知らせいたします。各部門における選考委員は下記の通りです。

※新任の選考委員には、名前の前に[新]を記載しています。無記載の方は留任の選考委員となります。

【電撃小説大賞】(小説部門)・6名(敬称略)

【新】三雲岳斗 (みくも・がくと、作家) 電撃文庫『ストライク・ザ・ブラッド』著者

【新】三上 延 (みかみ・えん、作家) メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』シリーズ著者

【新】吉野弘幸 (よしの・ひろゆき、アニメ脚本家)

代表作:アニメ『機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ』、

『劇場版 とある魔術の禁書目録 -エンデュミオンの奇蹟-』ほか脚本

・神 康幸 (映像プロデューサー/株式会社オフィスクレッシェンド 取締役副社長)

・和田 敦 (電撃文庫編集長)

・佐藤達郎 (メディアワークス文庫編集長)

【電撃イラスト大賞】(イラスト部門)・4名(敬称略)

・いとうのいぢ (イラストレーター、ゲーム原画家)

【新】abec (あべし、イラストレーター) 電撃文庫『ソードアート・オンライン』シリーズ ほか

【新】loundraw (らうんどろー、イラストレーター)

メディアワークス文庫『君は月夜に光り輝く』、双葉社刊『君の臍臓をたべたい』ほか

・湯浅隆明 (電撃文庫MAGAZINE編集長)

【電撃コミック大賞】(コミック部門)・6名(敬称略)

・高河ゆん (漫画家)

・綱島志朗 (漫画家)

・大河内一楼 (アニメーション脚本家)

・芝村裕吏 (ゲームデザイナー・小説家)

【新】いみぎむる (漫画家) 電撃コミックスNEXT『この美術部には問題がある!』著者

・梅澤 淳 (株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス事業局 第3編集部担当部長)

■「第25回電撃大賞」読者賞について

「電撃大賞」が第25回という節目を迎えることを記念し、《読者賞》を設立いたします。

本賞は、電撃大賞運営委員会がノミネートした作品の中から、一般読者の方にも選考に参加いただき、受賞作品を選出いたします。一般の方による選考は電撃大賞史上初となります。

小説、イラスト、コミックのすべての部門の応募作品が対象となり、小説部門での受賞者はデビュー確約、イラスト部門、コミック部門の受賞者は、電撃文庫MAGAZINE内の企画への参加および、雑誌などへの掲載を予定しております。《読者賞》の詳細については、順次、電撃大賞公式サイトほかにて発表してまいります。

■「電撃大賞」とは

1993年、作家・イラストレーターの新人登竜門「電撃ゲーム3大賞」としてスタート、第12回(2004年度募集)より「電撃大賞」に改称されました。

小説部門の「電撃小説大賞」からは多くの人気作家を輩出し、電撃文庫『ブギーポップは笑わない』(著／上遠野浩平・第4回大賞)、『灼眼のシャナ』(著／高橋弥七郎・第8回選考委員奨励賞)、『図書館戦争』シリーズ(著／有川 浩・第10回大賞)、『境界線上のホライゾン』(著／川上 稔・第3回金賞)、『狼と香辛料』(著／支倉凍砂・第12回銀賞)、『神様のメモ帳』(著／杉井 光・第12回銀賞)、『アクセル・ワールド』(著／川原 礫・第15回大賞)、『探偵・日暮旅人』シリーズ(著／山口幸三郎・第15回選考委員奨励賞)、『神様の御用人』(著／浅葉なつ・第17回メディアワークス文庫賞)、『はたらく魔王さま!』(著／和ヶ原聡司・第17回銀賞)、『ネトゲの嫁は女の子じゃないと思った?』(著／聴猫芝居・第18回金賞)などの人気作品が生まれてきました。直近の受賞作『86—エイティシックス—』(著／安里アサト・第23回大賞)、『君は月夜に光り輝く』(著／佐野徹夜・第23回大賞)なども発売後即重版となるなど好評を博しております。多くの作品が小説だけに留まらず、アニメ、コミック、実写映画、ゲーム、舞台など、さまざまなメディア展開を行っており、2017年は、『ソードアート・オンライン』(著／川原 礫・第15回大賞)の劇場版アニメが公開されたほか、4月には『ゼロから始まる魔法の書』(著／虎走かける・第20回大賞)のTVアニメ放送、5月には『ちょっと今から仕事やめてくる』(著／北川恵海・第21回メディアワークス文庫賞)の実写映画が全国劇場にて公開、7月からは『天使の3P! (スリーピース)』(著／蒼山サグ・第15回銀賞)のTVアニメが放送され、『博多豚骨ラーメンズ』(著／木崎ちあき・第20回大賞、イラスト／一色 箱・第20回大賞)のTVアニメ化も決定しています。

また、イラスト部門の「電撃イラスト大賞」受賞者も文庫のイラストなどを多数手がけております。単行本『図書館戦争』(著／有川 浩・第10回大賞、イラスト／徒花スクモ・第10回金賞)、メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』(著／三上 延、イラスト／越島はぐ・第15回銀賞)、『京都骨董ふしぎ夜話』(著／獅子ししゃも、イラスト／岡谷・第21回金賞)、電撃文庫『最強をこじらせたレベルカンスト剣聖女ベアトリーチェの弱点 その名は『ぶーぶー』』(著／鎌池和馬、イラスト／真早・第17回金賞)、『ねじ巻き精霊戦記 天鏡のアルデラミン』(著／宇野朴人、イラスト／竜徹・第18回金賞)、『オリンポスの郵便ポスト』(著／藻野多摩夫・第23回選考委員奨励賞、イラスト／いぬまち・第23回金賞)など、目覚ましい活躍を見せております。

コミック部門の「電撃コミック大賞」受賞者も電撃のコミック各誌で活躍しており、「月刊コミック電撃大王」では『やがて君になる』(仲谷鳩・第21回金賞)、『魔王のかわいいヤマダはよいこ』(きあま紀一・第21回銀賞)が連載中、「電撃マオウ」では『コーヒー カンタータ』(からあげたろう・第22回大賞)、『熱帯魚は雪に焦がれる』(萩苅まこと・第23回金賞)が連載中です。

第25回電撃大賞は現在作品を募集中で、2018年4月10日締め切り(当日消印有効)です。

- 電撃大賞公式サイト: <http://dengekitaisho.jp/> ※10月4日(水)正午更新予定
- 電撃大賞公式Twitter: https://twitter.com/dengeki_taisho/

■「第25回電撃大賞」主な応募要項

- 募集部門: 電撃小説大賞(小説部門)／電撃イラスト大賞(イラスト部門)／電撃コミック大賞(コミック部門)
- 賞(各部門共通): 大賞＝正賞＋副賞 300万円
金賞＝正賞＋副賞 100万円
銀賞＝正賞＋副賞 50万円
- <小説部門のみ> メディアワークス文庫賞＝正賞＋副賞 100万円
電撃文庫MAGAZINE賞＝正賞＋副賞 30万円
- 最終締め切り: 2018年4月10日(当日消印有効)

- 応募方法**: 郵送(当日消印有効)、もしくは電撃大賞公式サイト掲載の応募フォームよりウェブ応募
- 選考方法**: 締め切り後、小説部門は1次～4次、イラスト・コミック部門は1～3次の選考を行い、最終候補作を選出。2018年9月に、最終選考委員により大賞および各賞の受賞作品を決定します。
- 発表**: 受賞作品の発表は、2018年10月上旬より、電撃大賞公式サイト、電撃文庫MAGAZINE、メディアワークス文庫、電撃コミックスの挟み込みチラシおよび「電撃」の各誌にて行う予定です。

【電撃小説大賞】(小説部門)

募集内容:オリジナルの長編および短編小説。ファンタジー、SF、ミステリー、恋愛、歴史、ホラーほかジャンルを問わず。未発表の日本語で書かれた作品に限る(他の公募に応募中の作品も不可)

【電撃イラスト大賞】(イラスト部門)

募集内容:未発表(他の公募に応募中の作品も不可)のオリジナル作品

【電撃コミック大賞】(コミック部門)

募集内容:

◆オリジナルコミック作品

オリジナルコミックを募集。ファンタジー、SF、ミステリー、恋愛、歴史、ホラーほかジャンルを問わず。未発表の日本語で書かれた作品に限る(他の公募に応募中の作品も不可)。

◆コミカライズ作品

電撃文庫・メディアワークス文庫を課題作品としてコミック化した作品。

◆コミック原作作品

未発表のオリジナル作品の原作。絵コンテ(ネーム形式)またはテキスト(脚本形式)による応募。

■過去2回の「電撃大賞」応募数の推移

第22回: 応募総数5,650作品

小説部門4,580作品(長編3,169作品、短編1,411作品)、イラスト部門677作品、コミック部門393作品

第23回: 応募総数5,803作品

小説部門4,878作品(長編3,410作品、短編1,468作品)、イラスト部門591作品、コミック部門334作品

<ご参考>

■「電撃文庫」とは

1993年6月創刊の文庫レーベル。「電撃文庫」ではこれまで、ファンタジー、SF、ミステリー、ホラー、ラブコメなど、ジャンルを問わないオリジナルなエンターテインメント作品を刊行してまいりました。『とある魔術の禁書目録(インデックス)』(シリーズ累計1,635万部)をはじめ、『灼眼のシャナ』(同860万部)、『デュラララ!!』(同560万部)、『狼と香辛料』(同426万部)、『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』(同500万部)、『アクセル・ワールド』(同480万部)、『はたらく魔王さま!』(同285万部)、数多くの大人気シリーズを生み出しています。2017年は、2月に『ソードアート・オンライン』(全世界累計発行2,000万部)の劇場版アニメが公開、4月より『エロマンガ先生』(シリーズ累計120万部)と『ゼロから始める魔法の書』(同62万部)がTVアニメ放送、6月より『魔法科高校の劣等生』(同790万部)の劇場版アニメが全国ロードショー、7月からは『天使の3P!』(同34万部)のTVアニメが放送されました。また『キノの旅』(同818万部)の14年ぶりとなる新作TVアニメも10月から放送開始となります。現在活躍中の人気作家の多くは、創刊と同年にスタートした小説・イラスト・コミックの新人登竜門「電撃大賞」より誕生しています。ファンクラブサービス「電撃文庫CLUB」も展開中で、「電撃文庫」は多くの方々に楽しんでいただいております。毎月10日発売。

- 電撃文庫公式サイト: <http://dengekibunko.jp/>
- 電撃文庫CLUB: <http://dengekibunko.jp/club/>
- 電撃文庫公式Twitter: https://twitter.com/bunko_dengeki/

■「電撃文庫MAGAZINE」とは

2008年4月創刊、「電撃文庫ファンのための最強エンタテインメントマガジン」。電撃文庫の人気シリーズやアニメ化が決定した作品の情報、人気シリーズの書き下ろし短編小説などを掲載し、電撃文庫を一層楽しむためのさまざまな企画が詰まった雑誌です。フィギュア、ドラマCD、ポスター、ステーションナリーなど、毎号付く豪華オリジナル付録も人気となっています。偶数月10日発売。

- 電撃文庫MAGAZINE公式サイト: <http://dengekibunko.jp/magazine/>

■「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊、アスキー・メディアワークスが贈るエンターテインメント・ノベル。恋愛、ミステリー、歴史など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、シリーズ累計640万部を突破し実写とアニメでの映画化が決定した『ビブリア古書堂の事件手帖』（著／三上 延）、『神様の御用人』（著／浅葉なつ、シリーズ累計135万部）、『0能者ミナト』（著／葉山 透、同60万部）、『オーダーは探偵に』シリーズ（著／近江泉美、同45万部）、『お待ちしてます 下町和菓子 栗丸堂』（著／似鳥航一、同37万部）、『絶対城先輩の妖怪学講座』（著／峰守ひろかず、同26.5万部）などのヒット作品が生まれています。また、『探偵・日暮旅人』シリーズ（著／山口幸三郎、同85万部）の連続TVドラマ化や、『ちょっと今から仕事やめてくる』（著／北川恵海、同70万部）が実写映画化されました。現在活躍中の人気作家の多くは、小説・イラスト・コミックの新人登竜門「電撃大賞」より誕生しています。メディアワークス文庫は、実写映像化、コミカライズなどさまざまなメディアミックス展開を行っており、幅広い層の方々に楽しまれております。毎月25日発売。

- メディアワークス文庫公式サイト：<http://mwbunko.com/>
- メディアワークス文庫公式Twitter：<https://twitter.com/mwbunko/>

■電撃ブランドのコミックについて

電撃ブランドでは、最強コミックマガジン「月刊コミック電撃大王」（毎月27日発売）を中心に、4コマ&ギャグ専門の「コミック電撃だいおうじ」（毎月27日頃発売）、ゲーム・コミック誌「電撃マオウ」（毎月27日発売）、女性向けのWebコミック「pixivシルフ」（毎週木曜日更新）など、複数のコミック媒体を展開しております。「電撃コミック大賞」の前身「電撃コミックグランプリ」やコミック各誌が行っている新人賞の受賞者は、オリジナル作品やゲーム・アニメなどのコミカライズ作品を手掛け、「電撃コミックス」（毎月27日発売）、「電撃コミックスNEXT」（毎月10日・27日発売）、「電撃コミックスEX」（毎月27日発売）、「シルフコミックス」（毎月22日発売）などのコミックスレーベルから多数発売されています。また、『この美術部には問題がある！』（作／いみぎむる、電撃マオウ連載）、『ガヴリールドロップアウト』（作／うかみ、コミック電撃だいおうじ連載）がTVアニメ化されたほか、『三ツ星カラズ』（作／カツヲ、月刊コミック電撃大王連載）のTVアニメが2018年1月より放送開始予定など、メディアミックス展開も盛んです。

- 電撃コミックWEB：<http://dc.dengeki.com/>
- 公式ツイッター
「月刊コミック電撃大王」：https://twitter.com/Dengeki_Daioh
「コミック電撃だいおうじ」：<https://twitter.com/daiohg>
「電撃マオウ」：https://twitter.com/dengeki_maoh
「シルフ」：https://twitter.com/sylph_amw

■アスキー・メディアワークスとは

アスキー・メディアワークスは、小説、コミック、ゲーム、ホビー、テクノロジーなど、エンターテインメントやPC/IT分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

また、2017年は「電撃」ブランド創立から25周年を迎えます。これを記念し特別企画「電撃スペシャル企画25連発」と称し、2018年3月までさまざまな企画を展開してまいります。

- KADOKAWAオフィシャルサイト：<http://www.kadokawa.co.jp/>
- アスキー・メディアワークス公式サイト：<http://asciimw.jp/>
- 電撃25周年公式サイト：<http://25th.dengeki.com/>



以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA

アスキー・メディアワークス事業局 広報

TEL:03-5216-8123 FAX:03-5216-8124 E-mail:amw-pr@ml.kadokawa.jp